

ゼローダ錠 チェックシート参考資料（乳がん）

表1. 手足症候群の重症度判定基準

グレード	臨床領域	機能領域	(参考) 判定基準にない具体的症状例
1	しびれ、皮膚知覚過敏、 ヒリヒリ・チクチク感、無痛性腫脹 無痛性紅斑、色素沈着、爪の変形	日常生活に制限を受けない症状	(対処の必要のないもの) 皮膚、爪の色素沈着、爪の変形
			(対処の必要なもの) 皮膚の硬化
2	腫脹を伴う有通性皮膚紅斑、 爪甲の高度な変形・脱落	日常生活に制限を受ける症状	爪症状(脱落等、痛みを伴うもの)
3	湿性痂皮・落屑、水疱、潰瘍、 強い痛み	日常生活を遂行できない症状	爪症状(機能障害あり)

該当する症状のグレードが両基準(臨床領域、機能領域)で一致しない場合は、より適切と判断できるグレードを採用する。
この基準は手足症候群の判定のみに採用し、他の皮膚症状、他の部位の皮膚の評価には使用しない。

表2. その他の副作用の重症度判定基準

副作用	グレード1	グレード2	グレード3	グレード4
下痢	ベースラインと比べて 1日4回未満の排便回数 増加	ベースラインと比べて 1日4～6回の排便回数 増加、24時間未満の静 脈内輸液を必要とする	ベースラインと比べて 1日7回以上の排便回数 増加、便失禁、24時間 以上の静脈内輸液を必 要とする、入院を必要と する	生命を脅かす
悪心	摂食習慣に影響のない 食欲低下	顕著な体重減少、脱水ま たは栄養失調を伴わな い経口摂取量の減少、2 4時間未満の静脈内輸 液を必要とする	カロリーや水分の経口規 取が不十分、24時間以 上の静脈内輸液または 経管栄養またはTPNを 必要とする	生命を脅かす
嘔吐	24時間に1回の嘔吐	24時間に2～5回の嘔 吐、24時間未満の静脈 内輸液を必要とする	24時間に6回以上の嘔 吐、24時間以上の静脈 内輸液またはTPNを必 要とする	生命を脅かす
白血球	<LLN~3,000/mm ³	<3,000~2,000/mm ³	<2,000~1,000/mm ³	<1,000/mm ³
口内炎	わずかな症状で摂食に 影響なし	症状があるが、食べやす く加工した食事を嚥下す ることが可能	症状があり、十分な栄養 や水分の経口摂取がで きない	生命を脅かす
好中球	<LLN~1,500/mm ³ <LLN~1.5×10 ³ /L	<1,500~1,000/mm ³ <1.5~1.0×10 ³ /L	<1,000~500/mm ³ <1.5~0.5×10 ³ /L	<500/mm ³ <0.5×10 ³ /L
血小板	<LLN~75,000/mm ³ <LLN~75.0×10 ³ /L	<75,000~50,000/mm ³ <75.0~50.0×10 ³ /L	<50,000~25,000/mm ³ <50.0~25.0×10 ³ /L	<25,000/mm ³ <25.0×10 ³ /L

図1. 副作用発現時の休薬・減量基準(B法)

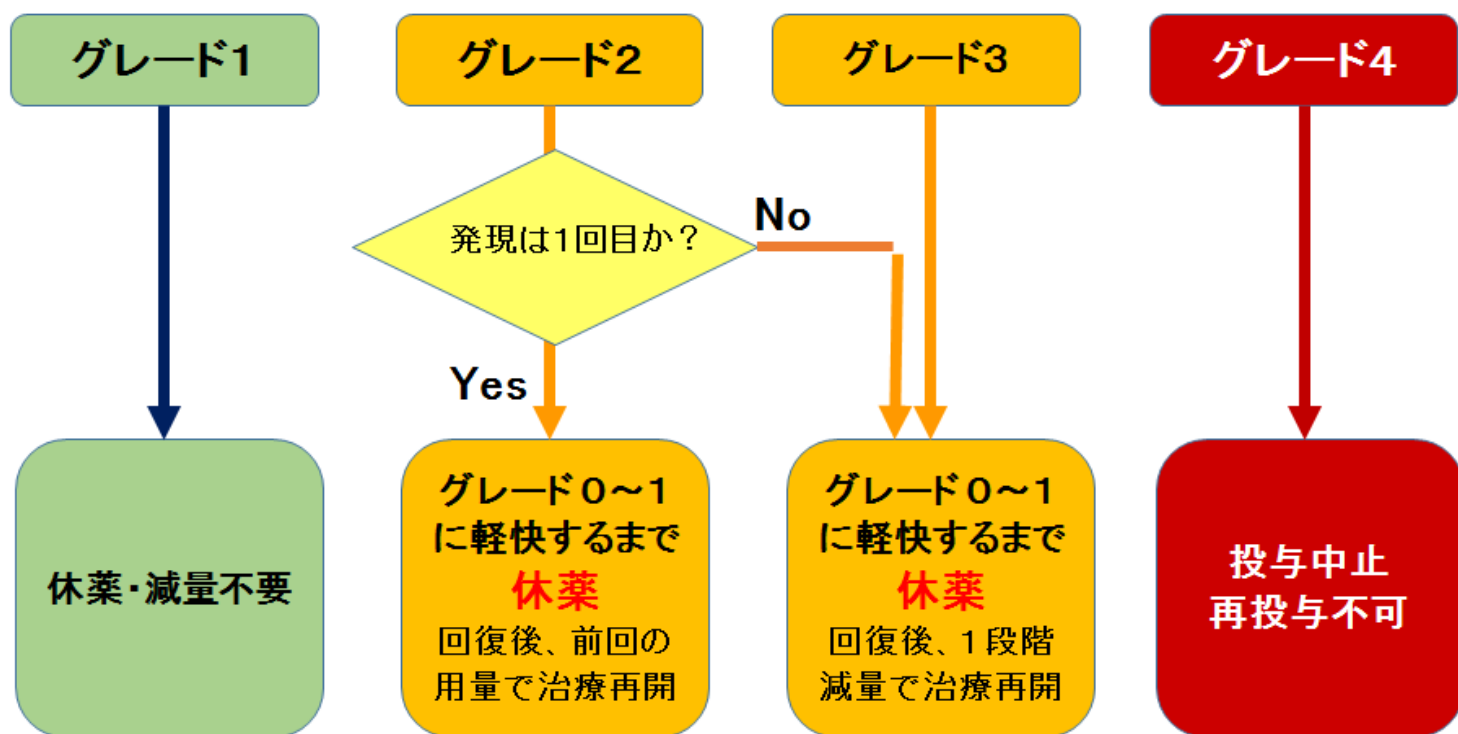


表3. 減量時の1回投与量(B法)

体表面積	1回用量		
	初回投与量	減量段階1	減量段階2
1.13m ² 未満	1,500mg(5錠)	900mg(3錠)	600mg(2錠)
1.13m ² 以上1.21m ² 未満		1,200mg(4錠)	
1.21m ² 以上1.33m ² 未満	1,800mg(6錠)		900mg(3錠)
1.33m ² 以上1.45m ² 未満		1,500mg(5錠)	
1.45m ² 以上1.57m ² 未満	2,100mg(7錠)		1,200mg(4錠)
1.57m ² 以上1.69m ² 未満		1,800mg(6錠)	
1.69m ² 以上1.77m ² 未満	2,400mg(8錠)		
1.77m ² 以上1.81m ² 未満			
1.81m ² 以上			